

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年度の実施について

平成28年9月

川 越 市

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るPDCAサイクルに基づく進行管理について

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の国の施策の方向を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「総合戦略」)を策定しました。

総合戦略に位置付けた取組を効果的に推進するため、重要業績評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していきます。各施策の進捗状況や具体的な取組内容等については、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、専門的な知識を有する方や学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行います。

このため、平成28年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略(Plan)に基づく平成27年度事業の進捗状況や具体的な取組内容(Do)について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価(Check)を行いましたので報告します。

平成27年度事業におけるPDCAサイクルの総括

今回の評価については、総合戦略の策定が平成28年1月だったこと等から、当該戦略に基づく施策の多くが、本格的な事業展開を平成28年度からとするものでした。そのため、平成27年度事業については、重要業績評価指標(KPI)に反映されるような事業展開に至っていないこともあり、各施策については今後の取組への期待を込めた意見が出されました。そのため、今回の評価を踏まえた取組(Action)としては、平成28年度に向け、概ね現状の計画に基づき進めることとします。

平成28年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

	開催日	出席者
第1回	平成28年7月8日	本部員:出席者 10名、欠席者 2名
第2回	平成28年7月14日	本部員:出席者 12名 外部有識者:出席者 8名
		いるま野農業協同組合 大木 清 志 川越地域理事代表
		川越商工会議所 専務理事 竹澤 穰 治(代理)
		東京国際大学商学部 教授 伊 藤 匡 美
		尚美学園大学総合政策学部 教授 木 村 啓 子
		東洋大学理工学部 教授 吉 田 善 一
		埼玉りそな銀行 川越支店支店長 齊 藤 重 教
		埼玉懸信用金庫 川越支店支店長 松 岡 伸 幸
		武蔵野銀行 川越支店支店長 本 図 則 夫

戦略1

～川越でしごとをする～
地域の特性を活かし、
若者を引きつける働く場をつくる

プロジェクト1

しごと暮らし 川越
川越産業の活性化と若者の地元就業

プロジェクト2

ものづくり長屋 川越
文化創造拠点の形成と創業支援

プロジェクト3

健康食レストラン 川越
川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

戦略2

～川越で育てる～
安心して出産・子育てができる
環境をつくる

プロジェクト4

縁結び 川越
若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

プロジェクト5

すくすく かわごえ
子育て世代を支える安心の拠点づくり

戦略3

～川越を活かす～
地域の価値を高め、
魅了あるまちをつくる

プロジェクト6

蔵人ファンド 川越
「蔵の町 川越」を活かし、支援するファンドの創設

戦略4

～川越を遊ぶ・感じる～
より広域に、より魅力の高い
交流の機会をつくる

プロジェクト7

キテミル KAWAGOE
川越を訪れるきっかけづくり

プロジェクト8

蔵 in ガルテン 川越
グリーンツーリズム拠点の整備

政策目標

平成31年時点で	実績値	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
総人口350,000人以上を維持		349,378	350,223				
年少人口43,000人台、		45,537	45,324				
生産年齢人口213,000人台を維持		219,062	217,272				

戦略1 ～川越でしごとをする～ 地域の特性を活かし、若者を引きつける働く場をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市内事業所従事者数(人/年)	目標値	-	127,523	-	127,523	-
	実績値	127,523	-			
市内総生産額(百万円/年)	目標値	1,087,269	1,107,240	1,127,211	1,147,182	1,167,154
	実績値	1,067,298	1,133,468			

プロジェクト1 しごと暮らし川越 川越産業の活性化と若者の地元就業

具体的施策		3. 市内企業への販路拡大支援 4. 既存産業に対する環境整備 関連1. 創業支援					
1. 若者に対する川越就業のための情報提供支援 2. 多様な働き方の支援							
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市が主催する市内高校・大学への就職応援講座の実施数(件/年)	目標値		4	7	12	16	20
	実績値	4	4				
創業支援の利用者数(人/年)	目標値		50	75	100	125	150
	実績値	25	87				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・就業のための情報提供については、若者に限らずハローワーク等とも連携し事業を進めるべきである。 ・学生に対し、地元企業の優位点・魅力をわかりやすく情報提供すべきである。		・ハローワークなどとも話し合いの場を設ける等していく。 ・商工会議所と協力し、地元企業の魅力の紹介や求人情報などを載せるポータルサイトの構築や冊子の配布により情報提供を進める。					

プロジェクト2 ものづくり長屋川越 文化創造拠点の形成と創業支援

具体的施策		1. 旧川越織物市場の整備 「文化創造インキュベーション施設」として整備					
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
文化創造インキュベーション施設 入居率(%)	目標値		0	0	0	0	100
	実績値	0	0				
立門前線の歩行者・自転車 通行量(人)	目標値		3,915	3,915	3,915	3,915	4,500
	実績値	3,915	3,200				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・施設整備とともに、施設を活かす人材である「インキュレーター」の質が、その後の展開にとって非常に重要。人選についても熟慮すべきである。		・マネジメントは重要と考えており、今後、多方面からのアドバイスを受けつつ、進めていく。					

プロジェクト3 健康食レストラン川越 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

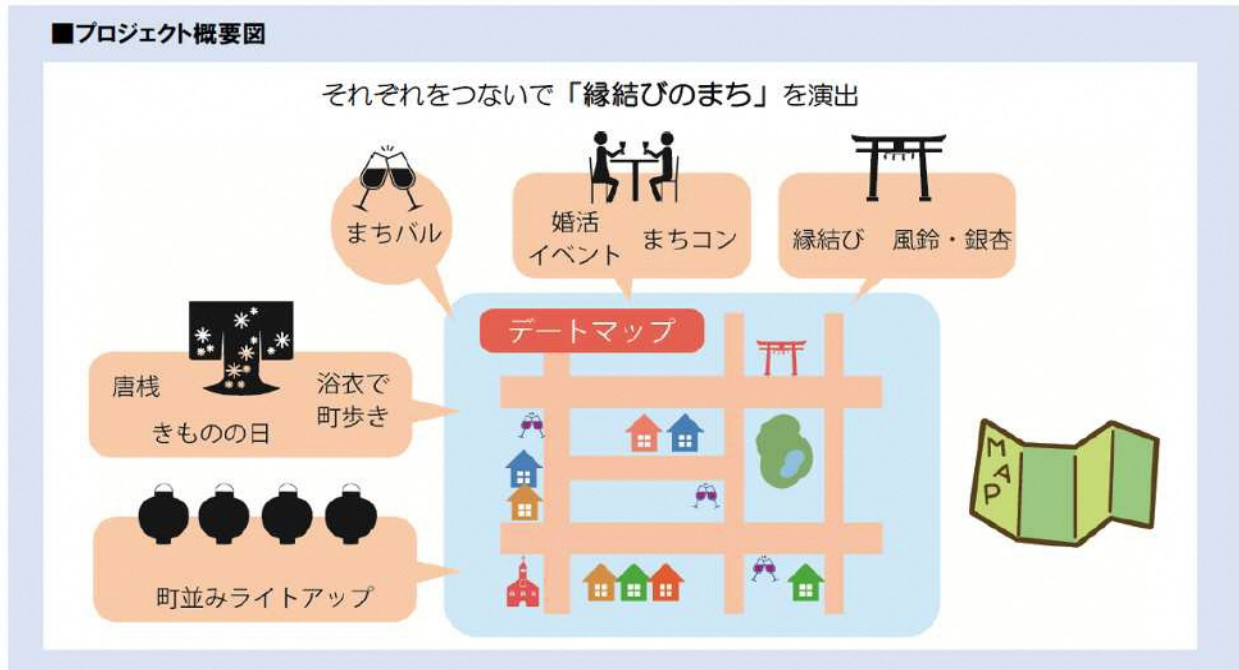
具体的施策		2. 川越産農産物のブランド化事業 3. 川越伝統野菜の再興					
1. 健康食レストラン川越の設置							
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農産物直売所の総販売額 (百万円/年)	目標値		628	645	662	679	700
	実績値	611	667				
川越産農産物を使ったレシピの 累計開発数(件)	目標値		5	20	40	50	50
	実績値	0	5				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・意見等なし		・現計画に基づき推進					

戦略2 ～川越で育てる～ 安心して出産・子育てができる環境をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育て世帯の転入数(世帯/年)	目標値	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
	実績値	1,015	1,069			

プロジェクト4 縁結び川越 若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

具体的施策							
1. 縁結びの支援		2. 出会いの仕掛けづくり					
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
デートマップに掲載されたスポットの累計数(件)	目標値		17	27	37	47	60
	実績値	17	17				
縁結び関連の事業・イベントの実施数(件/年)	目標値		3	7	11	15	20
	実績値	2	3				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・「プリムラの集い」(対象年齢40～55歳)よりも若い世代を対象とした施策に注力すべきである。		・若い世代に対する取組についてもさらに検討していく。					



プロジェクト5 すくすくかわごえ 子育て世代を支える安心の拠点づくり

具体的施策							
1. 子育て安心施設の整備							
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
保育園待機児童数(人/年)	目標値		60	46	32	18	0
	実績値	74	67				
地域子育て支援拠点事業の利用者数(人/年)	目標値		93,251	96,718	100,265	104,002	108,105
	実績値	69,361	94,507				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・施設整備も必要だが、そこで働く保育士の確保や、保育の質の向上などにも取り組むべきである。		・民間の保育士も対象とした研修を充実させるなどして、保育の質を確保する。					

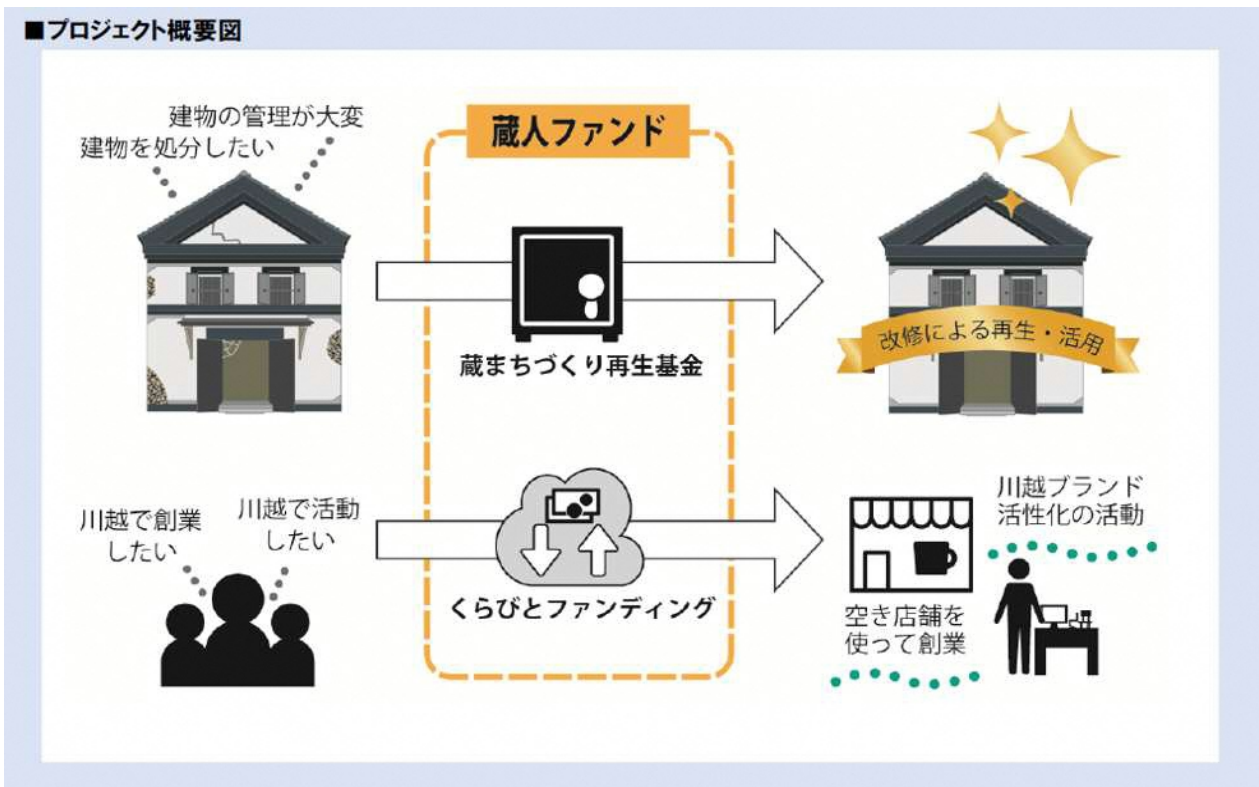
戦略3 ～川越を活かす～ 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
定住意向率(%)	目標値	-	-	-	-	90.0
	実績値	88.7	-	-	-	-
空き家率(%)	目標値	-	-	-	-	11.0
	実績値	11.0	-	-	-	-

プロジェクト6 蔵人ファンド川越 「蔵の町 川越」を活かし、支援するファンドの創設

具体的施策	2.くらびとファンディングの設立					
1.蔵まちづくり再生基金の設立	3.歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築					
重要業績評価指標(KPI)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
蔵まちづくり再生基金の活用累計数(件)	目標値	0	0	0	0	1
	実績値	0	0			
くらびとファンディング活用累計数(件)	目標値	0	1	4	7	10
	実績値	0	0			
外部有識者からの評価			評価を踏まえた事業の今後について			
意見等なし			現計画に基づき推進			

■プロジェクト概要図



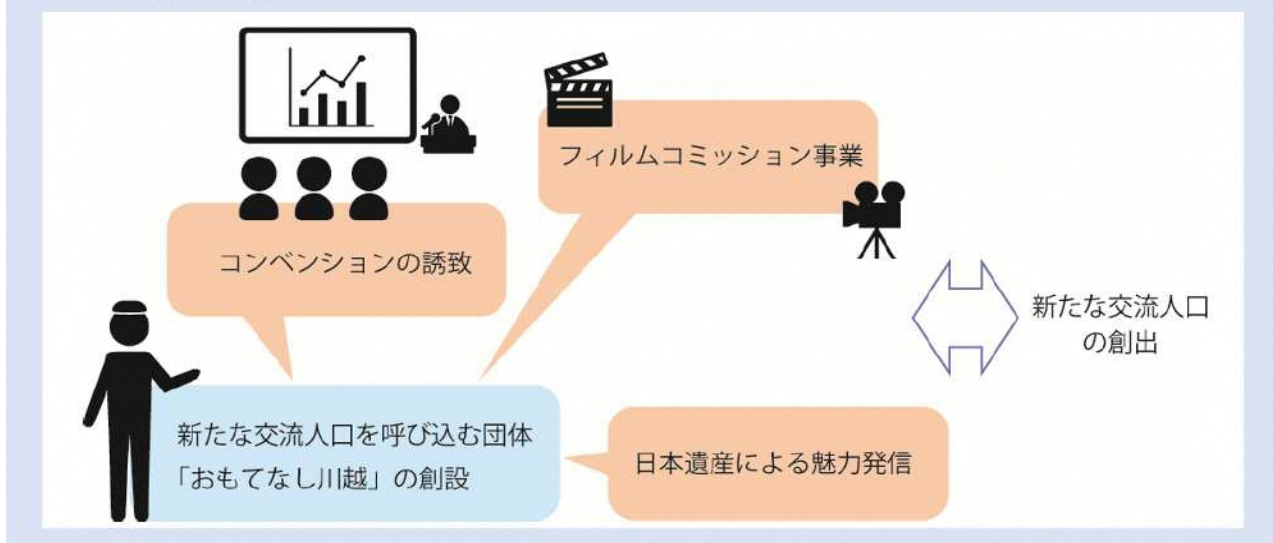
戦略4 ～川越を遊ぶ・感じる～ より広域に、より魅力の高い交流の機会をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
観光客数(人/年)	目標値	6,664,500	6,750,000	6,860,000	6,970,000	7,080,000	
	実績値	6,579,000	6,645,000				
外国人観光客数の割合(%)	目標値		1.3	1.5	1.7	1.9	2.2
	実績値	1.1	1.7				

プロジェクト7 キテミル KAWAGOE 川越を訪れるきっかけづくり

具体的施策							
1.「おもてなし川越」の創設		3.フィルムコミッション事業					
2.コンベンションの誘致		4.「日本遺産」による魅力発信事業					
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ロケ地として撮影された件数(件/年)	目標値		66	75	84	93	105
	実績値	57	33				
観光客の平均消費額(円)	目標値		4,233	4,300	4,600	4,800	5,000
	実績値	4,166	4,073				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・意見等なし		・現計画に基づき推進					

■プロジェクト概要図



プロジェクト8 蔵 in ガルテン 川越 グリーンツーリズム拠点の整備

具体的施策							
1.グリーンツーリズム拠点の整備		2.伊佐沼公園など周辺施設との連携					
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農業体験事業参加者数(人/年)	目標値		1,108	1,205	1,302	1,399	1,500
	実績値	1,011	965				
外部有識者からの評価		評価を踏まえた事業の今後について					
・子供を対象とした農業体験を実施してはどうか。また、収穫だけではなく、田植え、草刈など一連の作業を通じた体験を実施したほうがよい。		・今後関係課との調整を踏まえ、取り組んでいきたい。					

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金
(地域消費喚起・生活支援型)
(地方創生先行型)

事業の取組について

平成28年9月

川 越 市

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型/地方創生先行型)
事業の評価について

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の国の施策の方向を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

これに伴い国は、平成26年度に地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を創設しました。地域における消費喚起や、これに直接効果を有する生活支援を推進するための事業を実施することを目的として「地域消費喚起・生活支援型」を、総合戦略の円滑な策定とこれに関する優良施策実施の支援を目的として「地方創生先行型」が用意されました。本市においても本交付金を活用し、平成27年度に事業を実施しました。

このことについて、平成28年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、事業内容について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者と意見交換を行いましたので、その内容について報告します。

平成28年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

	開催日	出席者
第1回	平成28年7月8日	本部員:出席者 10名、欠席者 2名
第2回	平成28年7月14日	本部員:出席者 12名 外部有識者:出席者 8名
		いるま野農業協同組合 大木清志
		川越地域理事代表
		川越商工会議所 専務理事 竹澤穰治(代理)
		東京国際大学商学部 教授 伊藤匡美
		尚美学園大学総合政策学部 教授 木村啓子
		東洋大学理工学部 教授 吉田善一
		埼玉りそな銀行 川越支店支店長 斉藤重教
		埼玉懸信用金庫 川越支店支店長 松岡伸幸
		武蔵野銀行 川越支店支店長 本図則夫

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型) 事業一覧

事業名

- 1 消費喚起プレミアム商品券発行事業(商品券発行事業)
- 2 消費喚起プレミアム商品券発行事業(川越蔵まちバル)
- 3 第3子及び多胎児産前産後ヘルパー派遣事業

事業におけるPDCAサイクルの総括

今回の評価については、消費喚起額や利用率から、一定の効果があったものと考えられます。そのため、今回の評価を踏まえた取組として、市が今後実施する同様の事業にその結果を生かし、取り組むこととします。

1. 消費喚起プレミアム商品券発行事業(商品券発行事業)

目的・概要

目的・概要	<p>(1)目的・概要:地域における消費の拡大、新規の消費誘発による市内経済の活性化(地元店舗の利用促進)を目的として、プレミアム付商品券を発行する事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>(2)プレミアム率:30%(県10%、市20%)(1冊13,000円分(額面1,000円券8枚、500円券10枚(1冊18枚綴))を10,000円で販売)。500円券は一般店専用、1,000円券は大型店でも使用可能</p> <p>(3)販売額/発行総額:10億円(10万冊)/13億円 (4)購入限度:5冊(5万円)/人(1世帯当たり3人まで)</p> <p>(5)補助事業者:川越商工会議所 (6)販売日・販売方法:8月1日(土)から市内14箇所にて発売</p> <p>(7)利用期間:8月6日(木)~1月11日(月)</p>
-------	---

事業効果

商品券等の発行・換金実績	発行実績(千円)		換金・利用実績(千円)		利用率(%)
		1,300,000		1,296,723	
消費喚起実績(千円)	消費喚起額(千円)	新規消費喚起額(商品券分)(千円)	新規消費喚起額(追加現金分)(千円)	アンケートから類推される新規消費喚起額(千円)	
	67,873	12,986	5,918	361,164	

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	<p>・普段利用しているスーパーを中心とした、日常の買い物をメインに利用されている実態がうかがえた一方、商品券が利用できることがきっかけで、初めての店を利用していた消費者も多く、推計で約3億6千万円の新規の消費喚起効果があった。また、商品券が消費者の店舗利用拡大のきっかけになって、市内の小規模商店などに新規の顧客を誘導する効果がうかがえた。</p> <p>・消費者にとっては消費マインドの向上や市内での消費のきっかけにつながり、取扱店にとっては売上向上、来店客増加、新規顧客獲得を実感した店が少なくなかったことから、金額ベースでの示される経済効果とは別に、今回の商品券事業に消費者、取扱店ともに全体として満足できるものとなり、市内経済の活性化効果があったものと考えられる。</p> <p>・周知が十分でないという意見があったことから、実施の際には周知の方法について検討する必要がある。</p>
-------------	---

2. 消費喚起プレミアム商品券発行事業(川越蔵まちバル)

目的・概要

目的・概要	<p>(1)目的・概要:地域における消費の拡大、新規の消費誘発による市内経済の活性化(地元店舗の利用促進)を目的として、飲食店に限定したプレミアム付商品券を発行する事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>(2)プレミアム率:20%(1冊6,000円分(額面1,000円券6枚(1冊6枚綴))を5,000円で販売)</p> <p>(3)販売額/発行総額:1,000万円(2,000冊)/1,200万円 (4)購入限度:5冊(2万5千円)/人</p> <p>(5)補助事業者:株式会社まちづくり川越 (6)販売日・販売方法:10月30日(金)から市内3箇所にて発売</p> <p>(7)利用期間:10月30日(金)~1月17日(日)</p>
-------	---

事業効果

商品券等の発行・換金実績	発行実績(千円)		換金・利用実績(千円)		利用率(%)
		12,000		11,907	
消費喚起実績(千円)	消費喚起額(千円)	新規消費喚起額(商品券分)(千円)	新規消費喚起額(追加現金分)(千円)	アンケートから類推される新規消費喚起額(千円)	
	898	497	57	7,346	

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	<p>・参加店舗からは新規顧客の開拓効果があったとの声があり、消費喚起効果にとどまらず、今後も継続的な経済効果が期待できる。また、商品券を使ってまちバルを楽しむために川越に来た方もおり、観光の振興や、中心市街地の活性化効果もあったものとする。</p> <p>・商品券の販売方法や商品券事業とまちバルを組み合わせることにより、分かりにくいという意見も寄せられたことから、今後実施する際には、このような点を改善することにより、更なる消費喚起等の効果が期待できるものとする。</p>
-------------	--

3. 第3子及び多胎児産前産後ヘルパー派遣事業

目的・概要

目的・概要	<p>多子世帯または多胎児の妊産婦の負担軽減を目的とし、次の各号のいずれかに該当する場合に、無料で育児・家事を援助する支援員を派遣した。</p> <p>(1) 中学生以下の子が2人以上いる世帯で、第三子以降の子の妊娠中又は出産後であること</p> <p>(2) 多胎児の妊娠中又は出産後であること</p> <p>また、支援員の意識啓発を目的として、東京都助産師会副会長による講座を開催するとともに、支援員、利用者へのアンケートを実施。</p>
-------	---

事業効果

実績	利用実績(千円)	利用世帯数(世帯)	利用回数(回)
	7,279	53	1,206

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にアンケートを実施した結果、利用者の満足度は良好であり、当初の目的である産褥期の負担軽減に効果があったと考える。 ・担当者の初回訪問の際に、利用者からは第1子から利用しなかったとの声が多く、財源及びヘルパー等の支援員の確保、利用者負担額などの検討が必要。 ・利用者アンケートの回答では、保護者が留守の際の対応、柔軟な派遣(1日1時間を2回)、土日の対応などのニーズがあった。また、一定以上の利用料が設定された場合には利用しないとの回答が多くなっており、支援内容の充実と利用者負担額の設定は合わせて検討していく。 ・この事業は、受託している訪問介護事業者の支援員(ヘルパー)の能力によるところも大きいですが、複数の事業者が受託しており、良い意味での支援員の能力平準化が必要であることから、引き続き支援員の意識啓発を目的とした講座を実施する。 ・受託事業者に実施したアンケートの結果では、受託事業者同士での情報交換の場を設けてほしいなどの要望があり、集計結果の配布や意見交換の機会を設けるなど、今後も円滑に事業を実施していくためには、講座以外の取り組みを行う必要がある。
-------------	---

事業名

- 1 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業
- 2 創業支援・販路開拓事業
- 3 川越産農産物ブランド化事業
- 4 オリンピック開催を契機とした地域資源を活用したインバウンド関連事業
- 5 地域における保育環境等の充実事業(幼稚園、保育園等)
- 6 地域における保育環境等の充実事業(学童保育室)

事業におけるPDCAサイクルの総括

今回の評価については、概ね重要業績評価指標(KPI)を達成することができたことから、一定の効果があったものと考えられます。そのため、今回の評価を踏まえた取組として、総合戦略事業の実施にあたっては、本事業の内容を活かしながら進めることとします。

1. 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

目的・概要

目的・概要	農商工のバランスのとれた産業集積と魅力ある観光資源を有する本市の特性を踏まえ、2020年東京オリンピック大会を契機とした交流人口と定住人口の増加による地域の活性化という好循環を生み出す「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するために必要な、専門的な調査等を実施する。
-------	---

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	平成27年度中に総合戦略を策定する	目標値	単位	目標年月	実績値
			-	-	H28.3	H28.1

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	<p>総合戦略の策定に当たっては、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催し、幅広い関係者による審議を重ねた他、懇談会による関係者からの意見聴取、市民を対象としたアンケート調査などを実施したことで、様々な意見を踏まえた総合戦略を策定することができた。</p> <p>今後は、総合戦略に位置付けた事業が着実に実施されるよう、PDCAサイクルに基づいた進捗管理を適切に行っていく必要がある。</p>
-------------	---

2. 創業支援・販路開拓事業

目的・概要

目的・概要	製品開発能力に長けていても情報発信能力が乏しい中小企業に対し、メディア・インターネット等を利用した情報発信のノウハウを学ぶ機会を提供するほか、経済的な支援を行うことで、販路拡大支援を実施する。一方で、各種事業所数の減少傾向が続いている中、新規創業者を後押しすることで、事業所数を増やし、創業後も安定して事業を継続できるようにポータルサイトの作成やPR支援等を実施する。
-------	--

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	創業支援(創業スクール・個別相談会)の参加者数	目標値	単位	目標年月	実績値
			25	人	H28.3	38
重要業績評価指標(KPI)	KPI	情報発信数	目標値	単位	目標年月	実績値
			25	件	H28.3	12
重要業績評価指標(KPI)	KPI	ポータルサイト登録件数	目標値	単位	目標年月	実績値
			65	件	H28.3	6
重要業績評価指標(KPI)	KPI	PR支援件数	目標値	単位	目標年月	実績値
			10	件	H28.3	8

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	<p>平成27年度の販路開拓事業である電子商取引サイトは、設計に予想以上の時間が掛かったものの、年度内に構築することができた。平成28年度はサイトの利用実績を作ることによって効果を上げていきたい。</p> <p>また、平成28年度の販路開拓事業は、製造業向けの見本市活用セミナーに衣替えして実施するため、平成27年度に行った商業・小売り業向けのSNS活用セミナーは実施しない。</p>
-------------	--

3. 川越産農産物ブランド化事業

目的・概要

目的・概要	川越の地域資源を最大限に活用し、川越産農産物の付加価値や知名度の向上を図ることによって、川越の農業振興と産業全体の活性化を目指す。事業としては直売イベント等のPRの実施、農業者と商業者のマッチングなどを実施する。
-------	--

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	パンフレットの配布数	目標値	単位	目標年月	実績値
			20,000	枚	H28.3	169,620
重要業績評価指標(KPI)	KPI	対外的キャンペーンの回数	目標値	単位	目標年月	実績値
			3	回	H28.3	4
重要業績評価指標(KPI)	KPI	イベントの参加人数	目標値	単位	目標年月	実績値
			200	人	H28.3	9,500

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	ブランド化の機運を高めるための川越産農産物のPR事業とブランド化の準備として、PRのためのチラシ作製、対外的キャンペーンの実施、川越達也シェフの「トークショー」を含む直売イベントの開催、レシピの作成・活用等を行った。パンフレット(庭先販売マップ)の配布については、全戸配布するとコストがかかりすぎるため、公共機関等に設置する方法に変更する。対外的キャンペーンについては、市外よりも市内での認知度向上に重点を置いていく。イベントについては、既存イベントと共催するなど、さらなる集客力の向上に努めていく。
-------------	--

4. オリンピック開催を契機とした地域資源を活用したインバウンド関連事業

目的・概要

目的・概要	東京オリンピック大会のゴルフ競技の開催(予定)を契機とし、国内外へのプロモーション活動を実施するとともに、Wi-Fi、Web、観光ツアーなどの受け入れ環境を充実させることで、更なる独自性と発展性を合わせ持つ持続力のある観光地の形成を推進する。 また、川越百景という観光資源を軸として、観光ツアーの企画・調査、モデルツアーの実施や外国語版を含めたルートマップの作成などにより、新たな景観形成の取組みを促す機会とし、結果として更なる観光の拡大及び交流人口の増加を目指す。
-------	--

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	外国人観光客数	目標値	単位	目標年月	実績値
			83,000	人	H28.3	119,000
重要業績評価指標(KPI)	KPI	モデルツアー募集定員の参加率	目標値	単位	目標年月	実績値
			60	%	H28.3	98

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	平成28年度より、インバウンド関連事業については観光課へ事務を引き継いでいる。オリンピック開催を契機とした外国人観光客数の増加が引き続き見込まれることから、より効果的な事業等について継続して実施していく必要があるものと思われる。 川越百景コースマップは、改訂版の作成と民間事業者による活用の推進を図る。
-------------	--

5. 地域における保育環境等の充実事業(幼稚園、保育園等)

目的・概要

目的・概要	絵本を題材とした人形劇等の観劇会を実施し、児童の想像力を刺激し、本に興味を持つきっかけを作り、併せて、市内の幼稚園、保育施設に対し絵本等を配布することで、地域における保育環境等の充実を図り、地域内での子育てを支援する。また、絵本の貸出、読み聞かせ等を行うことにより、児童の情操を育むことを目的とする。
-------	--

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	各施設への絵本等の配布率	目標値	単位	目標年月	実績値
				100	%	H28.3
重要業績評価指標(KPI)	KPI	絵本等の読み聞かせ回数	目標値	単位	目標年月	実績値
			10	回/園・月	H28.3	22

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	今後も、KPIに即した施策内容を検討し、地域内での子育て支援として保育環境等の充実を図っていく。
-------------	--

6. 地域における保育環境等の充実事業(学童保育室)

目的・概要

目的・概要	学童保育室において人形劇等を実施することで、子どもの想像力を刺激し、本に興味を持つきっかけを作り、併せて学童保育室へ児童図書等を購入し、配布することで、地域における保育環境等の充実を図り、地域内での子育てを支援する。また、読書を推進することで、子どもの創造力を育てる。
-------	--

重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	KPI	各施設への児童図書等の配布率	目標値	単位	目標年月	実績値
				100	%	H28.3
重要業績評価指標(KPI)	KPI	保育環境に関する満足度	目標値	単位	目標年月	実績値
			90	%	H28.3	92

事業実施を通じた課題等

事業実施を通じた課題等	今後も地域内での子育て支援として保育環境等の充実を図り、併せて読書の推進も行っていく。
-------------	---